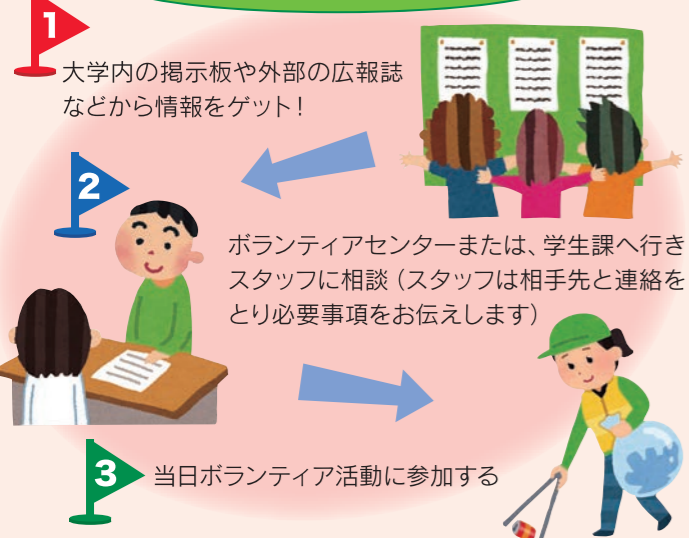
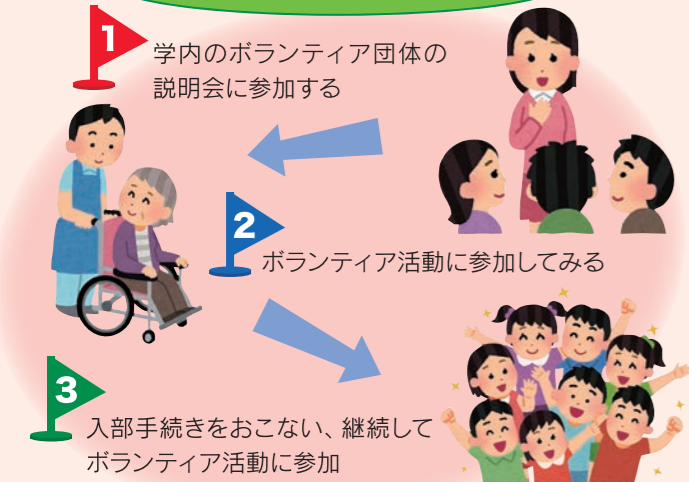


初めてのボランティア活動

個人で活動に参加



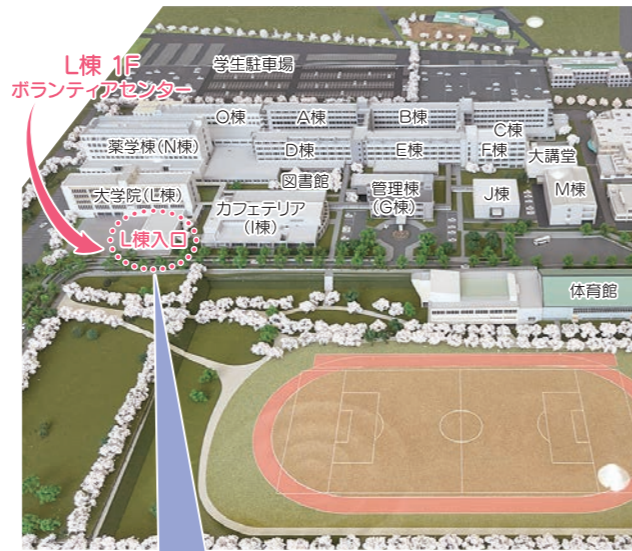
団体活動として参加



大田原キャンパスのボランティアセンターでは、皆さんの希望に合ったボランティア活動ができるようにお手伝いいたします。ボランティア活動が皆さんの将来に繋がる、貴重な人生経験となることを願っています。分からないことがございましたら、お気軽にご相談ください。

CAMPUS MAP

大学概要地図



Volunteer Center

ボランティア活動の手引き VOLUNTEER ACTIVITIES

2024年度

国際医療福祉大学ボランティアセンター

Operation

ボランティアセンターについて



IUHWボランティアセンターでは学生の主体的なボランティア活動を支援するために以下のような事業を行っています。

- 1 学生に対する情報の提供(電子掲示板等)
- 2 ボランティアに関する学習機会の提供及び相談
- 3 学生が運営するボランティア団体との連携・支援
- 4 外部との連携(外部ボランティアの調整)
- 5 関連施設でのボランティア活動支援
- 6 ボランティア活動に関する保険の手続き

ボランティア活動の基本4原則



IUHWボランティアセンターは、2005年10月に、大学のボランティア活動を促進し、地域と大学をボランティアでつなぐ窓口として開設されました。

ボランティア活動の基本4原則に則り、ボランティア活動を側面的に支援します。

「共に生きる社会」の実現を目指して

ボランティア活動を通して社会とふれあい、人生の経験値に繋げませんか？
国際医療福祉大学でのボランティア活動は、医療・地域・障がい・被災地・国際交流など幅広い分野で学生たちが活躍しています。



台風19号 栃木市災害ボランティア



台風19号 募金活動

児童養護施設での読み聞かせ



学内掲示ポスター作成風景

ボランティア活動団体ミーティングの様子

星の家まつりハザー



地域の高校生からヘルマークの寄付贈呈

地域のお年寄りと交流

大学関連施設のレクリエーション



能登半島地震 募金活動(カフェテリア売店に設置)

黒羽地区の住民と地域交流

ヘルマーク活動



学内献血活動

フリースクールでの活動

国際医療福祉大学病院小児科に贈るカレンダー作成

IUHW Volunteer Center

より「豊かな」学生生活をボランティア活動で実現する

看護学科

小原 広大



初め、私はボランティアに消極的でした。でも、やってみないと分からないのは失礼だと思い、参加してみました。ボランティアは、学びが多いと感じます。人とのかわり方や、緊急時の対応方法、どうしたらうまく活動できるか、など、バイトでも様々な学びがありますが、ボランティアとの決定的な違いは、何をやるにも、自分で情報を集め、自分で企画し、自分で人を集めなければならないことだと思います。その学びは大きいので、そして何より、やればやるほど「もっと関わりたい」と思うようになりました。団体の方針を決める責任もあり、自分が必要とされていることを実感します。私はそこに、魅力を感じています。また、活動ではポスターを制作しますが、それが多くの人に目に留まり、呼びかけに応じてくれることも達成感です。何に魅力を感じ、達成感を見出すかは人それぞれだと思います。ボランティアを通して、自分の達成感を試してみてください。私のサークルでは、活動当日は不参加でも、ポスターをつくるという形で、ボランティア協力して下さっている方もいます。自分でできる範囲で、一緒にボランティアしてみませんか。

言語聴覚学科

大條 藍



私は、コミュニケーション能力を高めたいと考え、ボランティア活動に参加しました。ボランティアに参加することで、大学の講義や演習だけでは学べない障がいをを持った方達や、子供たちとの関わり方など、多くの中身を体験することが出来ます。活動していく中で、戸惑ったり悩んでしまうことがあっても、改善点や解決策を自分で考え、行動することで、考え方や視野を広げることができたと思います。また、関わった方達からの「ありがとう」や、子供たちの何気なく発してくれた言葉に心が温かくなり、嬉しい気持ちになります。そして、様々な体験を通して、自身の力を高めていることが、ボランティアの魅力であると思います。ボランティアの種類は多くあるため、興味がある方は、自分がしたいと思うものにぜひ参加してみてください。そして、皆さんがボランティアを通して、様々なことを学び、充実した学生生活になっていただけたら良いと思います。

医療福祉・マネジメント学科

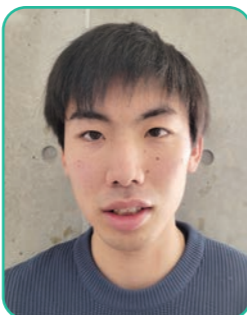
磯 桃果



私は、中学生の頃からボランティア活動に参加しているのですが、大学でのボランティア活動では、中高の活動よりもさらに深い学びが得られるように感じます。医療福祉系の大学であることから、発達障害や、高機能機能障害を持つ方を対象とした専門性の高いものもありますし、春休みや夏休みの期間が長いことを生かして、離れた場所に出向くなど、様々な経験ができます！私は、大学に入学してから、発達障害を持つお子様と関わるボランティアに参加したことで、障害への理解をより深めることができました。医療や福祉に携わる者として、ボランティア活動でのこのような経験は、大きな糧となると思います！

理学療法学科

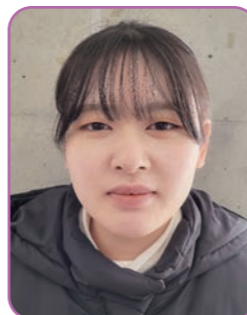
加藤 学



私は、違う学年や他学科の学生と関わりたいと思い、ボランティアサークルを始めることにしました。実際に、ボランティアサークルをしていて、違う学年や他学科の学生だけではなく、学外の人と関わることも多くありました。その関わりの中で、自分とは違う考えを持つ人がいることを学んだり、自分がどのようなことをするべきかを考えることが大事だと感じました。また、私は、大学に入るまでボランティア活動をしたことがなかったので、ボランティア活動がとても良い経験となり、自分の成長につながっていると思っています。このパンフレットを読んでくださった方も、ぜひ一緒に、ボランティア活動をしてみませんか。

視機能療法学科

小林 誠



私が、ボランティアに初めて参加したのは、高校一年生の時です。老人ホームに行って、高齢者の方と歌を歌ったり、折り紙を折ったりしました。最初は、高齢者の方に対してどう接すればいいのかわからず、戸惑ってしまいましたが、一緒にお話しをしていくうちに、会話が弾み、とても楽しく活動することができました。また、ボランティアを通して人のために活動する喜びや、やりがいを感じたため、大学では、ボランティアのサークルに入部しました。今後も、積極的にボランティアに参加していきたいです。

薬学科

千原 史愛



ボランティア活動では様々な方と触れ合わせていただけます。触れ合う中で、その方の言葉や表情から、その方の考え方や価値観などを一部ですが、窺い知ることができたと感じています。そして、その方の大切にされていることについて、思いを巡らせる中で、改めて考え直したり、私自身が気づきもしなかったことについても考えたりすることができました。また、気づいたことから新たな興味や関心を持つことができ、視野を広めることができました。ボランティアを通して、人の輪を広げることができましたが、同時に思いやりや知識の輪も広げることができたと思います。私自身大学までボランティアをしたことがありませんでしたが、有意義な経験ができました。今までボランティアをしたことがない方も、気軽にボランティアセンターを訪れてみてください。

作業療法学科

川端 美桜衣



ボランティア活動によって、自主性の大切さを学びました。様々な年代の人々に囲まれ、普段と異なった環境の中で、受け身な姿勢でなく、ボランティア先では何を必要としているのかを見極め、自分に何ができるのかを考えながら、行動に移していくという経験は、将来臨床に出たときにも活かせると思います。今だからこそ、できる経験がボランティア活動には多くあります。興味がある方は、悩む前にまず行動してみてください。座学では学べない様々なことを学べるかと思えます。

放射線・情報科学科

水原 颯太



私が、初めて参加したボランティアは、中学生の時に参加した、知的障がいを持った子供たちを対象とした、サッカースクールでした。はじめは、コミュニケーションをとるのにも苦労しましたが、とても良い経験ができました。ボランティアに参加する以前は、正直、ボランティアには、全く興味がありませんでした。しかし、このボランティアをきっかけに、誰かのために行動することができる嬉しさや、楽しさを学ぶことができました。大学生になってからは、知的障がいを持った子供たちと遊んだり、献血活動のお手伝いをしたりと、幅広いボランティアに参加しています。少しでも、ボランティアに興味があれば、ぜひ、ボランティアセンターに足を運んでみてください！

IUHW ボランティアセンター

国際医療福祉大学内L棟1階

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1

TEL:0287-24-3719



MAIL: volunteer@iuhw.ac.jp



HPQRコード